



オール熊本YMCAリーダー会 会長

尾見 駿斗 さん(スノーボーリーダー)

つながれ、明日へ。

コロナ禍でも負けないチャレンジ精神

熊本YMCAとの出会いは2年前。旧中央センターの受付のアルバイトが始まりました。「子どもが好き、英語が好き、スポーツが好き。“YMCAって僕が好き”なこと全部そろってる」と。そこから尾見さんの世界は瞬く間に広がっていきました。受付アルバイトのある日、職員から声をかけられます。熊本YMCAの放課後等デイサービスを手伝ってくれないか、という依頼でした。このプログラムは国の制度に基づき、障がいのある児童、生徒が放課後や週末に通う福祉事業です。「子どもが大好きなのに、困難を抱えている子どもたちと関わったことはありませんでした。YMCAでは受付だけではなく子どもと直接関わる機会を持ちたいと思っていたので、二つ返事で『はい、ぜひお願いします』と答えました」。

その後も尾見さんにはキャンプリーダー、チャリティーランと次々にオファーが届きます。昨年5月には、新型コロナウイルスの感染拡大で出された緊急事態宣言をうけ、共働き家庭やひとり親家庭の保護者と子どもたちを支援する学童プログラム(ユナイト)にも関わりました。コロナ禍で社会の様々な活動が抑制される中、持ち前の好奇心とチャレンジ精神が後押しし、YMCAというフィールドで尾見さんの活動の幅はどんどん広がっていききました。



世界がつながっているから面白い

「うわ、すごい。田んぼってこんな風になってるんだあ」。心地よい朝風が吹き抜ける田園に、ひととき響く元気な声の主は尾見駿斗さん。阿蘇で行われた水田の除草ボランティアに参加しました。東京都出身、都内の高校を卒業し、現在、熊本大学の2年生。生まれ育った東京を離れ、地方ならではの経験を日々重ねています。



物心ついたころから世界地図や国旗が大好きだったことが大学での専攻の原点だと言います。「大学では気象学を専攻しています。好きだった世界地図が、中学の教科書に出てくる世界各地の『雨温図』への関心につながり、気象学を本格的に勉強したいと思うようになりました。まだこれから先の研究分野のことは決めていませんが、気象予報士になりたいという目標を持っています」。気象予報士と聞くとテレビの天気予報を連想しがちですが、その活躍は社会の様々な分野にわたるとのこと。「気象って、地球全体の大気の影響。全部つながっているからおもしろい。日本だけでなく、世界に目を向けた仕事に就きたいと思っています」。

人を束ねる難しさ。でも、よくなっていく

今年2月、尾見さんは44名のユースリーダーを束ねる「オール熊本YMCAリーダー会」を立ち上げ、会長の役割を引き受けました。ユースリーダーとは、YMCAの活動に参画する学生や若者のこと。「もともと、野外(キャンプ)のリーダー会長を務めていました。野外リーダー会是一言で言うと『熱い』。コロナという難しい環境だからこそ、熊本YMCA全体のリーダーの力を大きく『オール』でひとつにまとめていこう、という担当職員のアドバイスにすごく共感して」。

YMCAのリーダーは、キャンプ、ウェルネス(運動)、前述の放課後等デイサービスなど、活動内容や拠点多岐にわたります。「オールリーダー会としての実績は?」と尋ねると、尾見さんは「まだまだです」と悔しさをにじませました。当面の目標の一つは、来年熊本で開催される全国YMCAリーダー研修をオールリーダー会でいっしょにつくり上げていくこと。「アルバイトとしてYMCAの門を叩いた僕がそうだったように、YMCAと関わることが、災害ボランティアや国際交流など、社会への貢献や世界の仲間とつながるチャンスになるということと同世代のリーダーたちにも知ってほしいんです」。

何度も口にするのは「YMCAって奥が深い」。今日より明日、必ずよくなっていく、と信じて行動する尾見さんの微笑みをたたえたまなざしは、大好きな気象について語る時と同じ輝きを持っていました。

Pickup

思い出を絵日記に
サザンスクール



リフレスおおむた
がまだす隊
「えだまめとったよ!」

涼を求めて冒険
放課後等デイサービス



サマーキャンプ2021

今年も子どもたちがYMCAの
サマーキャンプに集まりました。



4 7 13 14 15



世界に一つだけの
クワガタ!



上手に
できてるでしょ?



風が
気持ちいい~



涼しいよ~



ほっぺがひんやり~

Pickupキャンプ

富士登山キャンプ

7月22日(木)
~26日(月)



静岡県のYMCA東山荘を起点に、早朝4時に起床して出発しました。姿形を変える雲や下界の眺望を楽しみつつ、途中8回休憩。初日のゴール3,140m地点では、宿泊する山小屋に着いた直後に大粒の雨が降りました。雨雲が去った後は、超巨大な虹が出現してみんなを驚かせました。

翌日2時に起床し、出発。満天の星と眼下の夜景、徐々に明るく色を変える東の空。4時40分、美しい朝日を仰ぎました。最後に9合目の急登を登り切り、全員元気に富士山登頂を果たしました。

種子島宇宙キャンプ

8月1日(日)
~5日(木)



テーマは、「宇宙・地球・自然・環境」。種子島宇宙センターではロケットや人工衛星の役割、惑星について多くの知識を得ました。そしてオンラインで、NASAのGarvey McIntoshさん、宇宙飛行士の山崎直子さん、宇宙旅行予定者の稲波紀明さんから「ワクワクすることを大事にする」「宇宙を考えることで様々な学びを得られる」「夢は叶う」などのメッセージが伝えられました。子どもたちは、宇宙・地球・自然・環境はすべてつながっていて、私たちの身近なところにも宇宙との関連が多くあることを学びました。

スペースキャンプ

7月25日(日)



ロマンあふれる「宇宙」をテーマに掲げ、YMCA本館を拠点にこどもえいごデイキャンプを実施。コロナ禍で外に意識を持つことが難しくなっている現在、あえて世界より大きなスケールをテーマにし、子どもたちには夢とロマンをもっとのびのび過ごしてもらおうと考えました。

年長から小学6年生までが参加し、宇宙に関する英語を歌やボディアクションを通して覚えました。「Mini quiz」「Moon Rock Hunting」「Moon Rock Relay」などのミッションにも挑み、子どもたちからは「Marsを覚えたよ!」「この1日を通して、英語力が伸びたと思う」など、様々な感想が聞かれました。

Voice

はじめて体験キャンプ

7月24日(土)~25日(日)

ユースリーダーの声

キャンプリーダー歴は4年。これまで15回のキャンプにボランティアとして参加しました。今回は子どもたちの年齢が低かったため、言葉のニュアンスが通じにくかったり、時間がかかったりすることもある中で、どうリードしていくかを考えさせられました。そんな中、まことくんは班長としてお話をちゃんと聞き、お友だちのケアもしてリーダーのような活躍ぶりでした。

僕自身、今後はYMCAで地域貢献や募金活動等のボランティアも経験したいと思っています。



野外活動クラブキッズ在籍
谷口まことくん
年中

レモンリーダー
美濃部 星矢さん 東海大学4年生

まことくん
質問

Q はじめてのお泊まりは寂しかった?

A 全然寂しくなかった!

Q キャンプは何が楽しい?

A リーダーとおともだちとの鬼ごっこ!

Q リーダーのどんなところが好き?

A たくさん遊んでくれるところ!

保護者の声

人見知りをすることがあったので、精神的に強くなってほしいと思ってキャンプに送り出しました。今回、はじめての宿泊キャンプなので最初は「行きたくないなあ」と漏らしていましたが、終わった後は「楽しかった。また行きたい!」と。リーダーからまことがグループの班長を率先してやってくれたと聞いて驚きましたが、とてもうれしかったです。来年は年長に上がって参加できるキャンプが増えるため、楽しみです。

野外活動クラブ募集中

野外活動の本物体験を通して、子どもたちがもともと持つ自ら育つ力をはぐくみます。

曜 日	毎月土曜もしくは日曜
対 象 (登録制)	キッズクラス/年中~年長 ジュニアクラス/小学1年生~6年生



R | E | P | O | R | T

[7月7日⇒ 8月8日]

記念

地域に開けたYMCAを目指して 本館オープン記念

3 10 11

5月にオープンしたYMCA本館のオープン記念イベントを7月24日(土)と8月8日(日)の2回にわたって開催しました。内覧会では、本館が備えるマンホールトイレやかまどスツールなどの防災設備をはじめ、会議等で貸出可能な教室や新幹線の絶景スポットを地域の皆さんに紹介しました。

8日は、留学生によるお国紹介を含んだやさしい日本語講座、キッズスポーツ教室、体力測定会を実施。さらにフェアトレード商品の販売も行いました。

やさしい日本語講座では、グループに分かれて、「日本に来て困ったこと」「日本に来て楽しかったこ

と」等をテーマに留学生と交流。日本語を学ぶ外国人に分かりやすい「やさしい日本語」を意識しながら、会話を楽しみました。参加者からは「在熊の外国籍の人が増えている。そんな人たちが困っているのを見たら、やさしく短い文章の日本語で話しかけて助けてあげたい」と感想が聞かれました。

9月には、オープン記念の第3弾「防災キャンプ」を開催予定(詳細は4面)。本館が地域コミュニティの拠点となるために、さらに開けたYMCAを目指していきます。

職員 辻健太郎



交流

熱海市伊豆山土砂災害 七夕に応援フラッグ作成

17

7月7日(水)、YMCA尾ヶ石保育園の園児34名が、同月に静岡県熱海市で発生した土石流災害で被災した市民を励まそうと、応援フラッグを作成しました。園児は手に絵の具を付け、縦100センチ、横110センチの布に手形を押し付けて絵を描きました。出来上がった絵は、虹、スイミー、ひまわりの3種類で、つながりや元気を表現したもの。「ひとりの小さな手を持ち寄って乗り越えて」「みんなで力をあわせてね」「ひまわりのように笑顔が戻る日が来ますように」とメッセージが添えられました。

2016年の熊本地震で被災した同園は、全国から

届いた寄せ書きに励まされた経験から、今年の豪雨災害で被災した球磨村の保育園にも応援フラッグを届け、今も交流が続いています。年長児の家入心桜さんは「困っている人がいたらほっておけない」と話してくれました。

フラッグは地元のYMCAを支援する熱海ワイズメンズクラブを通して被災地に届けられました。園児たちの気持ちが、被災地の皆さんの不安な気持ちを少しでも和らげ、明日に生きる希望になってくれることを願っています。

職員 久保誠治



Compassion

コンパッション Vol.5

総主事 神保 勝己

出会いは必然

毎朝のようにメジャーリーグで活躍する大谷翔平選手の話が報道されています。いつも笑顔でのびのびと、ある時は投手としてチームを勝利に結びつけ、ある時は打者としてホームランを量産。何より野球ファンを大切にする姿勢は、敵味方関係なく、私を含めた多くの方が魅了されていると思います。

この大谷選手の二刀流の活躍によって、再び脚光を浴びているのがベーブ・ルースです。ご存知の方も多いと思いますが改めてご紹介しま

す。本名はジョージ・ハーマン・ルース・ジュニア。童顔であったので、「Baby」をもじった「ベーブ」という愛称で呼ばれました。彼が野球を始めるきっかけになったのは、マシアス・バウトラーという神父との出会いです。

ベーブは母親が病弱で、父親は酒場の仕事が多忙。9人の兄弟姉妹の中で、成人期を迎えられたのはベーブと5歳年下の妹だけでした。ベーブは7歳にしてお酒を飲んだりタバコを吸ったりと、警察に迷惑をかける始末。両親の手におえず、「セント・メアリー少年工業学校」というカトリックの更生施設兼孤児院に入れられます。そこで出会ったマシアス・バウトラー神父からベーブは野球の基礎とルールを教わりました。ベーブは神父をわが父のように尊敬し、神父から発せられる言葉を素直に聞き入れ、

一生懸命野球に取り組んで、スーパースターになっていくのです。

7歳のベーブは、まさに闇の中で生きています。その闇に神様が光となって導き、ベーブ少年は大きく羽ばたいていったのです。マシアス神父がいなければベーブ・ルースの活躍もなく、ベーブ・ルースがいなければ今日のメジャーリーグもなかったかもしれません。

両親が孤児院に託したこと、そこで神父と出会い、そして野球と出会ったことは、一見すると様々な偶然が重なったようですが、これも「神様のご計画」ではないでしょうか。私たちの小さな行いや出会いが世界を変えることもある。それこそが、神様の御心によるものだと思います。

追悼 神保勝己さん

熊本YMCA総主事の神保勝己さんが病のため、8月4日に神様のもとに召されました。

1990年に入職。少年学習教育部の専任教員にはじまり、中央YMCA館長、ICR(国際・地域・会員サービス)部長、熊本YMCA学院副院長、熊本YMCA副総主事等を務め、2019年に富山YMCA総主事に就任。2020年度には熊本YMCAに帰任し、2021年度から熊本YMCAの総主事を務められました。

私たち熊本YMCAは神保さんの想いを受け継ぎ、これからもポジティブネットのある社会の創造に取り組んでまいります。



タイ山岳民族の子どもたちとともに



総主事就任時

I n f o r m a t i o n

行こう 見よう 深めよう

9月18日~19日

YMCA本館で体験！ 防災キャンプを 開催

地域
×
防災

11 12 13

最新の防災設備を備えたYMCA本館で、災害時の備えについて学びます。



回9月18日(土)~19日(日) 場YMCA本館
回小学生 回1500円 回15名 回熊本YMCA
回本館施設見学、ハザードマップ探検、野外調理、避難所シミュレーションなど(予定)
回YMCA本館 Tel 096-353-6391

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、内容が変更となる可能性があります。

10月1日

YMCA学院 2022年度入学願書受付10月開始

専門育成
×
人間教育

3 4 11

YMCA学院の2022年度入学願書受付が10月1日からスタートします。本年度からインターネット出願を採用。次年度開設予定の地域×ICTで新しい未来を創造する「地域創生ITビジネス科」にも注目です。遠隔地からの進学者や社会人・既卒者への入学支援制度もありますのでご相談ください。



出願期間10月1日(金)~10月6日(水)

選考日10月10日(日)

場YMCA学院

Tel 096-353-6393



インターネット出願はこちら▶

学科	目指せる職業・資格	修業年数
建築科	建築設計士・建築施工管理技士 インテリアデザイナー・住宅設計	2年
ホテル観光科	ホテル・観光・旅行・ブライダル コーディネーター・事務・販売	2年
医療秘書科	医療秘書・医師事務作業補助・医療事務	2年
地域創生ITビジネス科 <2022年度開設予定>	IT企業・Webマーケティング・NPO 旅行業・公務員	2年
健康スポーツ科	スポーツインストラクター・フィットネ ストレーナー・介護予防運動指導者	2年
こども保育科	保育士・幼稚園教諭・保育教諭	3年
グローバルコミュニケーション科 (留学生対象)	日本語能力試験	1年

回日時 回会場 回内容 回参加費 回定員 回参加条件 回持ち物 回対象 回主催 回締切 回申込 回問合せ 回その他

地球にやさしい電力を導入 幼稚園でSDGsを推進

YMCA熊本五福幼稚園とYMCA水前寺幼稚園は、株式会社ボーダレス・ジャパンの提供する電気サービス「ハチドリ電力」を導入しました。ハチドリ電力への切替でCO₂ゼロの実質自然エネルギー100%を使用することにより、火力発電で排出されていたCO₂を削減し、地球温暖化の防止に貢献します。

電気料金の1%は自然エネルギー基金になり、1%は支援したいNPOやNGOに寄付される仕組みです。地球にやさしいだけでなく、社会問題に取り組むNPOやNGOを支援することもできます。



わたしと聖句

詩編65編14節

牧場は羊の群れに装われ
谷は麦に覆われています。
ものみな歌い、喜びの叫びをあげていま
す。

素晴らしい世界

詩編第65編はとても美しい牧歌的な詩です。しかしギリシア語で書かれた旧約聖書(七十人訳)では、この詩編の見出しに「捕囚から帰還しようとした時のエレミヤとエゼキエルの歌」とあります。この詩編は帰還民の歌なのです。捕囚から帰ってきた人々が見た景色はどんな景色だっただろうと想像します。おそらく奪い尽くされ、荒れ果てた廃墟のような町々、荒涼とした風景だったのではないのでしょうか。けれども詩人の目には別の世界が広がっています。

ルイ・アームストロングの「What a



日本基督教団錦ヶ丘教会
川島直道

Wonderful World(邦題「この素晴らしい世界」)という曲があります。「わたしには緑の木々、赤いバラの花々も見え。それはわたしと君のために咲いているんだ。そして一人思う、なんて素晴らしい世界だ」と(私訳)

この歌は1968年に作られました。その背景には、当時泥沼化していたベトナム戦争があったと言われます。そうであれば、彼らが見ていた景色もまた緑の木々や赤いバラの花々ではなく、多くの人々の血が流され、枯葉剤がまかれた荒涼とした大地ではないのでしょうか。でもそこに美しい祝福された世界を見る。それはこの荒涼とした世界を神さまが憐れまれ、イエス・キリストを通して溢れるばかりの恵みを注がれることを知っているからです。どんなに厳しい時代を生きていても、この神さまの豊かな恵みを知る時に、わたしたちの目に映る景色も変わってくるのではないのでしょうか。

発行所／(公財)熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1
TEL 096-353-6397(代)
発行人／大塚 永幸 編集人／辻 健太郎
定価60円 購読料は会費に含む
www.kumamoto-ymca.or.jp



Facebook

熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

2021年度基本聖句

コリントの信徒への手紙二 4章18節
わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。